

【1班】

備蓄品を置く場所がない

施設の中に置ききれず溢れている

発災時に応援に来れる職員が本当にいるか？  
来れるか？

小規模事業所なのでスタッフの確保が心配

- ・見てすぐわかる BCP
- ・久木地域避難場所
- ・訓練実施方法
- ・地域連携

自宅から近い施設のところで応援に行く  
施設同士で協定しておく

備蓄倉庫に保管  
施設内の人の分しかないが、  
その他にもよいしなくては…

細く作成しないといけない

どこまで細かく作成すれば  
良いか分からない

備蓄品の期限間近になったものの使用方法  
お金をムダにしない

施設+デイなどは利用者に還元できるが、訪問サービスは、利用者に食べてもらうことができない。出費だけになってしまうので、行政がお金を出してほしい

地域の事業所が集まって対策本部をつくるとうまく回るのでは…

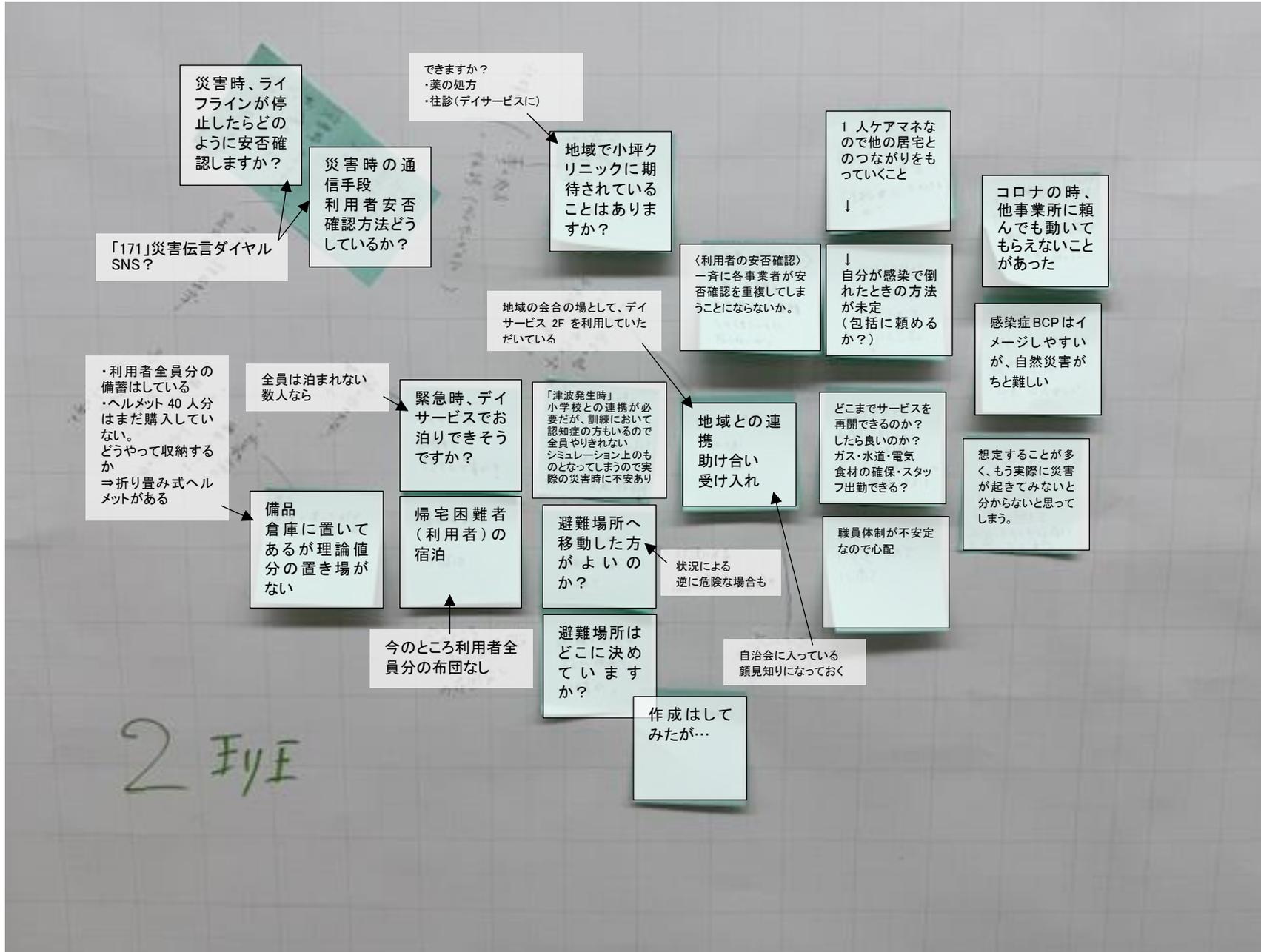
共有の備蓄倉庫があったらいい

・集まる場所

- ・メールアドレス聞き出しておく → 電話
- ・公衆電話は使えるらしい
- ・SNSが有効 LINEWORKS
- ・teams
- ・公式LINE

1班

【2班】



【3班】

3班

物資の  
保存ス  
ペース

事業所内の  
備蓄品はど  
の程度スベ  
ース

1年に1回見直し  
物資以外でトイレ用の水

利用者の安 否確認や遠 い家族への 連絡	利用者の安 全確保	職員への連 絡や職員の 家族(子供) の安否	ライフライン 止まる 電話つな がらない	職員の管理 連絡の取り方。 つながらない時 に対応 通信がマヒした 時の対応
-------------------------------	--------------	---------------------------------	-------------------------------	---

災害がおこる前から家族に  
話しておく  
対応を決めておく

利用者の安否確認に行ける  
タイミング

ケアマネと事業所間との連絡  
の役割分担

避難先  
までの  
移動

安全ルー  
トの確保  
の仕方

ハザードマップの確認  
職員に周知

BCP の研修  
と訓練の違  
い

研修に不安  
がある

一体的な作  
成？

災害対策委  
員会？

感染症対策  
委員会？

ひな形を見  
て、なんとなく  
記入事項を  
うめている

他事業所から情報を得る  
研修会に参加する

【4班】

4班

机上はできるが実際の訓練はどうしているのか

訪問介護の訓練とは

送迎中の発災時職員個人の判断について教育

発災時には別の事業所でも必要のある利用者に訪問できるように市に許可してほしい

このBCPいいか？

発災の種類ごとに想定しているか？

津波ハザードマップでは浸水地域になっていないが、建物が古いので倒壊リスクがある

災害時に今のBCPで動いてみるしかない  
動いてみなければ分からないことも多いと思う。

参集基準明確になっていない

市町としても動きや役割が分からないので連携がうまくできない

事業所内での避難場所はあるか？

利用者の防災意識はそれぞれ。どこまですすめたらよいのか？

法人として？事業所として？

法人とBCPを合わせるのには？

職員が少ない中、被災した場合の優先順位

緊急時の職員参集が難しい？  
少人数での対応？

発災の曜日によって在宅している人が違うのを分かりやすく整理できていない

独居、日中独居の利用者から優先して安否確認をしていくが、ルートの中で他の利用者がいたら…実際の動きを考えておく必要あり

訪問時に災害のあった時の判断基準

安否確認の範囲（登録者全員？）

安否確認方法 個人情報の持ち出し？

3.11の時等携帯などの通信がダメな時の情報収集&連絡

訪問中に発災した場合にどのように利用者と話して退室するか（寝たきり、独居等）

備蓄のコストが高い

備蓄品の保管 必要量確保できていない

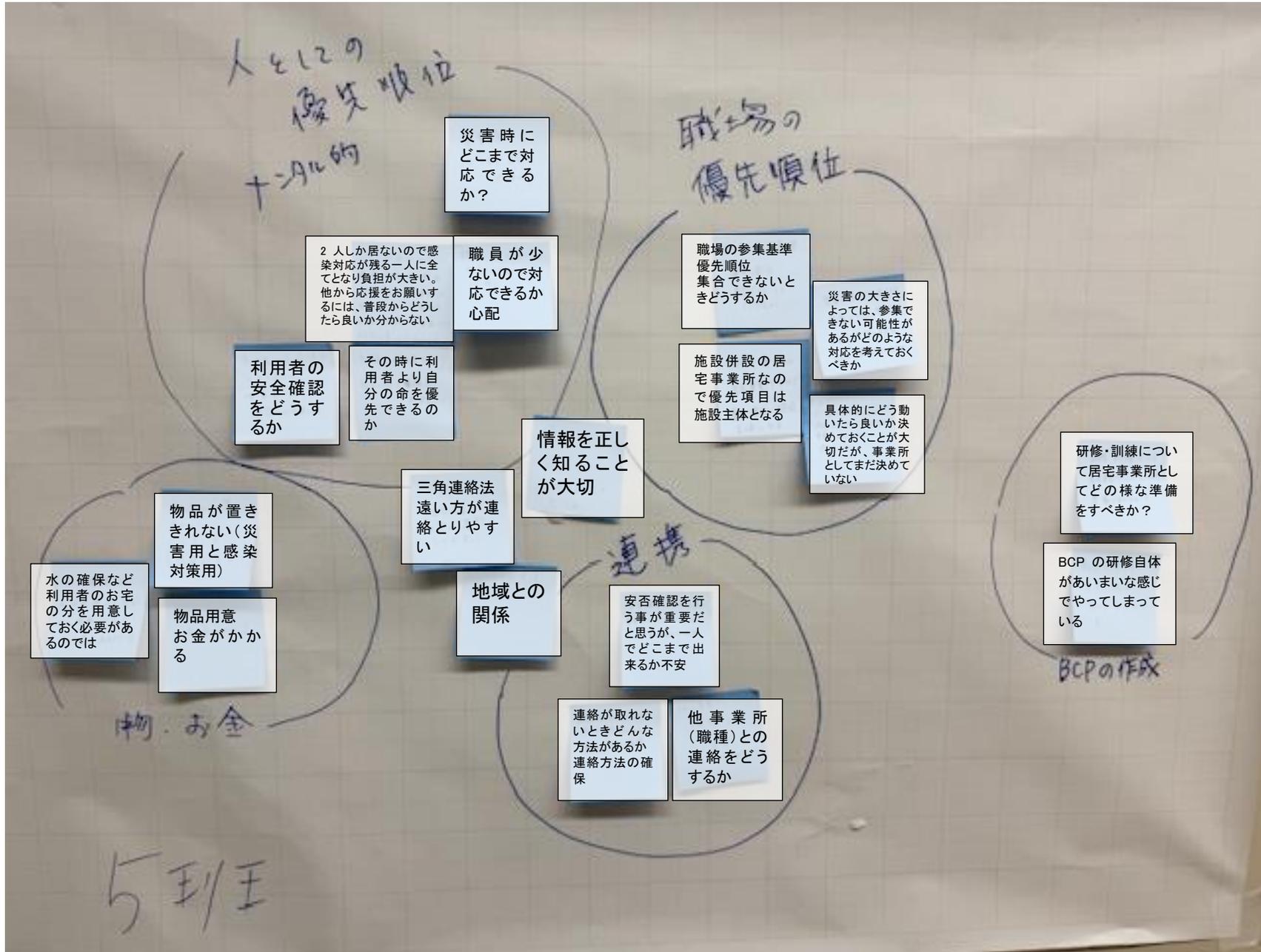
BCPの発動基準がわからない

BCPの発動基準が明確でない

備蓄品の保管（場所、量）

備蓄用品どのくらいいるか？

市の発動基準に合わせて決定した方が良いのか？



【6班】



【7班】

7班

民生委員の方も高齢だったり、そもそもいなかったりする。地域の方との連携はどうしたらいいのか。

機能訓練型 DS は食事を提供しないので、業務継続の意義がないのではないのか

スタッフの分だけなのか  
利用者の分も…

感染症対策の BCP はコロナが 5 類になった今も必要なのか

行動基準  
スタッフ  
利用者  
従業員携帯カードを活用

災害の種類によって避難場所が変わるので、一つにおさまられない。

通信が切断されると職員間の連絡がとれない  
利用者との連絡もとれない

通信が切断されると職員間の連絡がとれない  
利用者との連絡もとれない

津波が来たら事業所も浸ってしまう

職員の確保  
実際に災害が起きた時、出勤できそうなのは 3、4 人か…。

訪問なので利用者宅への移動手段

事業所周辺以外の利用者宅へ行けるか…。  
浸水、道路遮断、トンネル崩れ、線路、山崩れ

厚労省のひな形の規模が大きすぎて小規模事業所へのカスタマイズが難しい

休日、休暇だった時にはどうする？  
事業所の営業日外  
時間外の対応は？

色々なサービスを利用している方、誰が行く？

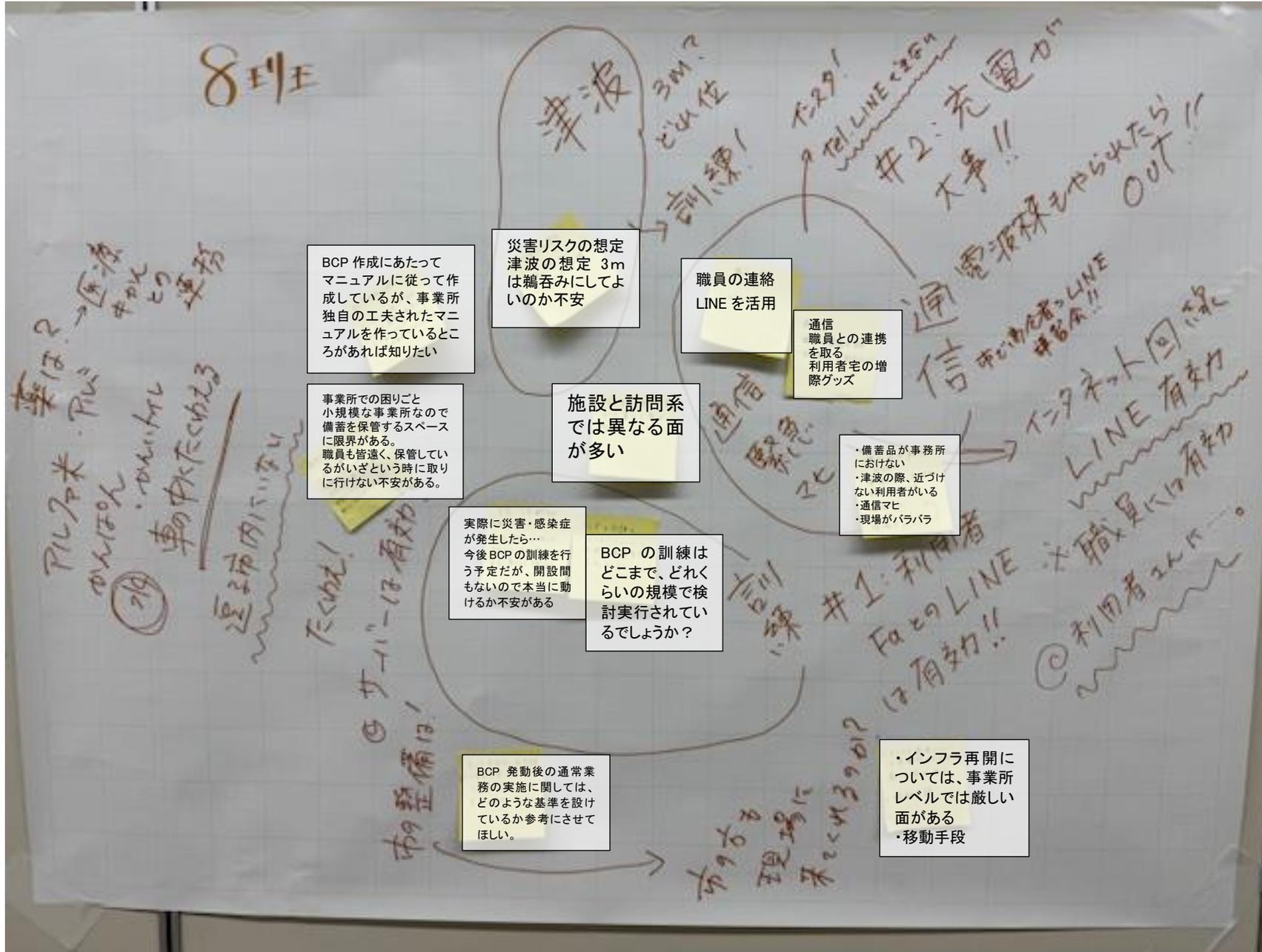
利用者の安否確認について、個々の事情があるので、統一方法から細かい対応を考えておく

訪問看護  
災害や感染が起きた時、神奈川県訪問看護協議会に加入している遠葉地区の 6ST が訪問する  
利用している ST が事業継続できない時、医師会と連携している

・カルテに避難場所を記入  
・災害カードと 1W 分の薬を準備している  
(災害カードには、疾患名、主治医、CM、関係機関、飲んでいる薬等を記入)

訓練の仕方  
どうやってるか  
実際

複合的な災害があった場合  
今回の能登のようとき



8班

災害リスクの想定  
津波の想定 3m  
は齧呑みにしてよ  
いのか不安

職員の連絡  
LINE を活用

通信  
職員との連携  
を取る  
利用者宅の増  
強グッズ

BCP 作成にあたって  
マニュアルに従って作  
成しているが、事業所  
独自の工夫されたマニ  
ュアルを作っているところ  
があれば知りたい

事業所での困りごと  
小規模な事業所なので  
備蓄を保管するスペース  
に限界がある。  
職員も皆遠く、保管して  
いるがいざという時に取り  
に行けない不安がある。

施設と訪問系  
では異なる面  
が多い

実際に災害・感染症  
が発生したら...  
今後BCPの訓練を行  
う予定だが、開設間  
もないので本当に動  
けるか不安がある

BCP の訓練は  
どこまで、どれく  
らいの規模で検  
討実行されてい  
るでしょうか？

- ・備蓄品が事務所  
におけない
- ・津波の際、近づけ  
ない利用者がいる
- ・通信マヒ
- ・現場がバラバラ

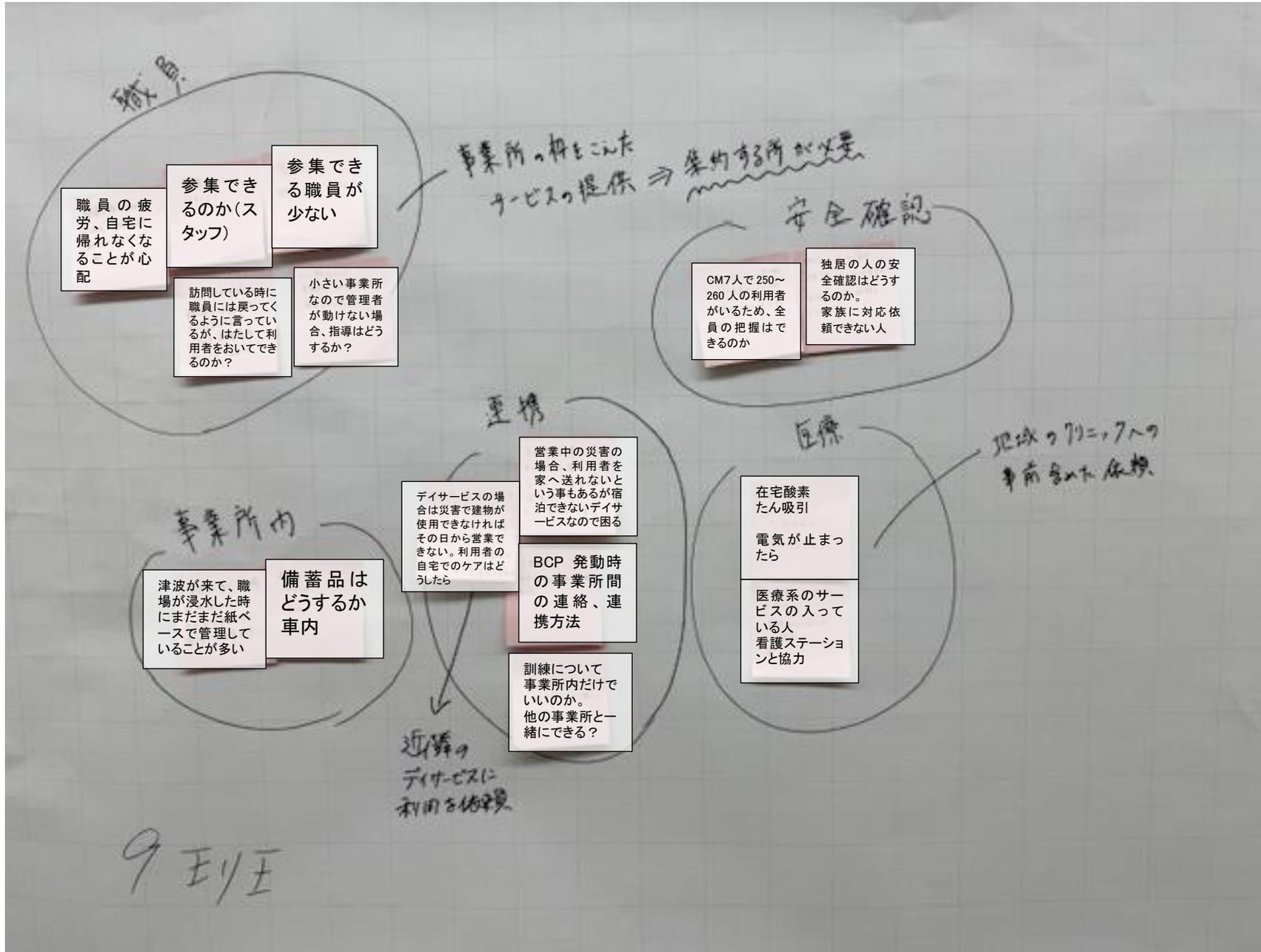
BCP 発動後の通常業  
務の実施に関しては、  
どのような基準を設け  
ているか参考にさせて  
ほしい。

- ・インフラ再開に  
ついては、事業所  
レベルでは厳しい  
面がある
- ・移手段

薬は？ → 医薬  
#10  
運務  
PIL 米・PIL  
かんぽん  
車の中に入れておく  
運送中に注意  
たす  
サーバーは有効  
の整備は

津波 3m? どの位  
訓練!  
#29!  
TEL LINE 活用  
#2: 充電が  
大事!!  
通信 波線モヤら水たら  
OUT!!  
通信 波線モヤら水たら  
OUT!!  
インターネット回線  
LINE 有効  
LINE 有効  
職員には有効  
利用者も有効  
訓練 #1: 利用者  
FaceのLINE  
は有効!!  
利用者も有効

【9班】



# 10班

★事業所ごとの備蓄品の共有ができれば災害時役立つのでは

施設と違って気を付けることが分かりにくかった

利用者様への避難場所周知

職場の近くの地域の人と顔がみえていない事

利用者様の避難場所把握

避難訓練の回数

自治会や地域住民とのかかわり

他事業所との連携

災害時、職員の確保、人数

携帯電話が使用不可の時の不安

安否確認といっても通信方法もとぎれ難しいと思った

メンバー全員が共有できていない

BCPについてメンバーがどれだけ理解できているのか

BCP作成の目的が見出せず、取組みにくかった

現実になったら機能できるだろうか？

実際にあった時は、パニック(全てが)状態になると思うという不安があった

年2回

食料以外の備蓄品  
アルコール、クツカバー、スリッパ、ガム、トイレ

備蓄品の量  
保管場所

広域に存在する利用者さんの事を考えると間に合わない気持ちになる

職員間の安否確認方法

少人数なので担当者より責任者が全て担うという気分になった

アルコール等  
スリッパ、トイレ

優先順位  
小惑

繰り返し練習による  
研鑽  
平時の準備が大切

11グループ

BCP 施設と訪問系で大きく違うサービス別に研修を居宅に特化した研修が必要

防災訓練 事業所内⇒市や町の連携 情報共有 指示系統が分からない

行政への希望

飲料水 1日6L 3日分 職員数の備蓄リストはあるが、実際は用意出来ない

備蓄量 検討つかず

不安

ヘルメット、バッテリーなどを法人で用意するのか訪問看護で用意するのかはつきり決まっていない

通信手段が途絶えた時、安否確認どうすれば

利用者、居宅への連絡をどのように行えるのか？

利用者様やその家族様にどのように説明するのか分からない

イX-ジトレーニング

どうしてもまだ他人事と考えてしまう どうしたら良いか分からない

事業所間での連携をどのようにするのか分からない

他事業所(他居宅)との災害時の連携 事前の取り決め等

居宅介護支援事業 訪問看護事業 それぞれのBCPと法人としての災害時医療救護拠点、医療救護所とのかねあい

パニックになったらどうするのか 分からない

BCPを作成する為どのようにモチベーションをあげれば良いかわからない